

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第7部門第3区分
 【発行日】平成23年4月14日(2011.4.14)

【公開番号】特開2009-118528(P2009-118528A)
 【公開日】平成21年5月28日(2009.5.28)
 【年通号数】公開・登録公報2009-021
 【出願番号】特願2009-41668(P2009-41668)
 【国際特許分類】

H 0 4 L 9/32 (2006.01)

H 0 4 L 9/10 (2006.01)

H 0 4 N 7/167 (2011.01)

G 0 6 F 21/24 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 L 9/00 6 7 5 A

H 0 4 L 9/00 6 2 1 A

H 0 4 N 7/167 Z

G 0 6 F 12/14 5 5 0 A

G 0 6 F 12/14 5 4 0 A

【手続補正書】

【提出日】平成23年2月4日(2011.2.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】コンテンツ記録再生装置、および、コンテンツ記録再生方法

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

上記目的は、特許請求の範囲記載の発明によって達成される。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

コンテンツを記録媒体に記録し、前記記録媒体から再生して外部の装置に送信するコンテンツ記録再生装置であって、

前記コンテンツにはコピー制御情報が付随しており、

前記コンテンツを前記記録媒体に記録し、前記記録媒体から再生する記録再生手段と、前記記録再生手段において前記記録媒体から再生したコンテンツを、前記記録媒体から再生したコンテンツに付随したコピー制御情報が示す状態に応じて異なる暗号化を行う暗号化手段と、

前記コンテンツ記録再生装置に接続された外部の装置に対して認証処理を行ない、認証された外部の装置に対して前記暗号化手段において暗号化されたコンテンツを送信する送信手段と、

前記暗号化手段と前記送信手段とを制御する制御手段とを備え、

前記制御手段による制御状態には、

前記コピー制御情報がコピー禁止であることを示すときに、前記暗号化手段において前記コピー制御情報がコピー禁止であることを示す状態に対応した第 1 の暗号化を行ったコンテンツを送信する第 1 の状態と、

前記コピー制御情報が制限付きでコピーを許可することを示すときに、前記暗号化手段において前記コピー制御情報が制限付きでコピーを許可することを示す状態に対応した第 2 の暗号化を行ったコンテンツを送信する第 2 の状態と、

前記コピー制御情報がコピーを制限なく許可することを示すときに、前記記録媒体から再生したコンテンツを暗号化を行わないで送信する第 3 の状態とがあることを特徴とするコンテンツ記録再生装置。

【請求項 2】

コンテンツを記録媒体に記録し、前記記録媒体から再生して外部の装置に送信するコンテンツ記録再生装置におけるコンテンツ記録再生方法であって、

前記コンテンツにはコピー制御情報が付随しており、

前記コンテンツを前記記録媒体に記録し、前記記録媒体から再生する記録再生処理ステップと、

前記記録媒体から再生したコンテンツを、前記記録媒体から再生したコンテンツに付随したコピー制御情報が示す状態に応じて異なる暗号化を行う暗号化処理ステップと、

前記コンテンツ記録再生装置に接続された外部の装置に対して認証処理を行ない、認証された外部の装置に対してコンテンツを送信する送信処理ステップとを備え、

前記暗号化処理ステップと前記送信処理ステップにおける処理状態には、

前記コピー制御情報がコピー禁止であることを示すときに、前記コピー制御情報がコピ

－禁止であることを示す状態に対応した第 1 の暗号化を行ったコンテンツを送信する第 1 の状態と、

前記コピー制御情報が制限付きでコピーを許可することを示すときに、前記コピー制御情報が制限付きでコピーを許可することを示す状態に対応した第 2 の暗号化を行ったコンテンツを送信する第 2 の状態と、

前記コピー制御情報がコピーを制限なく許可することを示すときに、前記記録媒体から再生したコンテンツを暗号化を行わないで送信する第 3 の状態とがあることを特徴とするコンテンツ記録再生方法。